

# 平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: エコタウン環境課  
 担当名: 創エネルギー推進担当  
 内線: 3004 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B12	燃料電池自動車等普及推進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	次世代自動車普及促進事業費	
事業期間	平成27年度～	根拠法令	地球温暖化対策推進条例		宣言項目	10 新たなエネルギー社会の構築			
					分野施策	051142 環境に優しい社会づくり			
1 事業概要				5 事業説明					
水素エネルギーの普及拡大と地球温暖化対策の推進を図るため、平成27年度に導入した公用車や県庁スマート水素ステーションの維持管理、燃料電池自動車の普及、商用水素ステーションの整備を継続するとともに、新たに燃料電池バスや燃料電池トラック等の導入を目指す。契約内容の見直しによるリース料等の減 (5) 燃料電池バス導入事業 $\Delta 5,026$ 千円 執行方法の見直しに伴う会場使用料等の減 (2) F C V 率先導入 $\Delta 58$ 千円 (3) F C V 普及啓発費 $\Delta 5$ 千円 (4) 県庁 S H S 維持管理費 $\Delta 240$ 千円 補助見込台数の精査等に伴う減 (7) F C V 導入補助 $\Delta 40,003$ 千円				(1) 事業内容 ア F C V 率先導入 公用車として導入した F C V (2台) の維持管理 3,279千円→ 3,221千円 イ F C V 普及啓発費 県民向け試乗会の開催 (8回) 4,500千円→ 4,495千円 ウ 県庁 S H S 維持管理費 県庁スマート水素ステーションの維持管理 11,579千円→ 11,339千円 エ 燃料電池バス導入事業 県内への導入を目指し F C バスをスポットリース 6,397千円→ 1,371千円 オ F C V 導入補助 購入者への補助 100,028千円→ 60,025千円 (2) 事業計画 平成27年度 公用車として F C V 2台を導入、県庁 S H S の整備、F C V 導入補助制度の創設 平成28年度 県庁 S H S の維持管理 (8年間) 平成29年度 燃料電池バスの導入に向けた取組の開始 平成31～32年度 水素エネルギーの利活用 (3) 事業効果 ・県内全域に燃料電池自動車の普及を積極的に進めることによる C O 2 排出量の削減 ・F C V ・バス・トラック等が県内を走行することにより、水素社会の到来を県民に広く周知 (4) 補正予算の概要 ア 契約内容の見直しによる燃料電池バスリース料等の減額 $\Delta 5,026$ 千円 イ 出張の見直しによる旅費等の減額 $\Delta 303$ 千円 ウ F C V 補助見込台数の精査等に伴う減額 $\Delta 40,003$ 千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 45,332$							$\Delta 45,332$	80,451
現計額	125,783							125,783	